



書を楽しむ

教育長 津野 庄一郎

1月17日（土）関川村民会館大ホールで「第6回 せきかわ新春競書大会」（担当：坂爪・倉松教育指導員）が開催され、関川小・中学生30名が参加しました。子どもたちの真剣な表情と静かな闘志が、凜とした空気をつくります。



指導者の鈴木政信先生は、「キーワードは楽しむこと。そして、心を込めて丁寧に、自信をもって、バランスよく」書くようにと話されました。また、「今年は審査の方を悩ますくらいレベルが拮抗^{きっこう}している」とも話され、これは子どもたちの作品からも伝わります。



関係者や保護者が見守る中、子どもたちは与えられたスペースで書道の道具を整え、渡された5枚の書き初め用紙を使い、真っ白い紙に筆を立て、自分の気持ちをぶつけながら黙々と書いていきます。一枚一枚作品を仕上げていく様子は、感動的です。

関川村の教育の特色の一つに小学校低学年の「書道科」があります。子どもたちはこの時間、姿勢を正し、私語もなく集中して文字を書きます。それは書くという行為を通して、自分の頭で考え、心を鍛えているように思います。

結びに、青少年育成関川村村民会議、関川村地域学校協働本部、関川村地域子ども応援隊の皆様、子どもの挑戦に背中を押してくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

<【写真】上：競書大会全景、中：1年生に指導する鈴木先生、下：3つの留意事項>